

令和3年度 第2回佐久市立近代美術館協議会 議事録

日時 令和3年10月26日(火)午後3時30分～

場所 佐久市立近代美術館 視聴覚室

出席者 委員9名、事務局職員5名

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 令和4年度事業計画(案)について

事務局：(資料1ページについて説明)

令和4年度に開催を予定する展覧会は、資料1ページのとおり。令和4年5月から7月にかけて臨時休館するのは、館東側(喫茶室付近)の外壁タイル修繕工事のためである。

委員：外壁タイル修繕工事の終了後は、喫茶室が以前のように使えるようになるのか。

事務局：もともと、屋外から直接は喫茶室へ出入りできないようになっている。バリケードは外壁タイルの浮きが判明する以前から、タイルの損傷が著しい第2駐車場側の階段を封鎖するために設置していた。工事後は、バリケードを階段前まで移動させて喫茶室前を開放することも検討する。

委員：美術館内に居心地よく過ごせる空間があるとよい。以前は自販機で飲み物を買ってひと休みしながら、本棚の本を読めるのがよかった。

事務局：自販機の再設置は難しいが、本棚は新型コロナウイルス対策で利用者の滞在時間を短くするために撤去したので、今後状況が良くなれば設置する予定である。

委員：展示室での展覧会のほかに、エントランスホールや喫茶室での小展示も企画できないか。

事務局：エントランス周辺の使い方については、事務局内でも議論的となっており、来年度以降、エントランスホールや喫茶室内で展示やワークショップを行うことを検討している。喫茶室を「休むスペース」でなくすることも、改善策のひとつとして考えている。

委員：佐久創造館が令和5年度で閉館となるため、駒場公園内で飲食できる場所がなくなってしまう。将来的には近代美術館内に喫茶店やレストランを設けてほしい。

委員：前館長の個展（並木功展）は、身近な美術館長の作品に接することができる良い企画だと思う。現館長もこのような作品展示をしてみてもどうか。美術に関わりのない方にも、館長の仕事が伝わる機会になると思う。

館長：学芸員から作品展の発案があった場合には、開催趣旨をよく聞いたうえで可否を判断したい。また、前館長、現館長ともに美術作家であるが、館長は必ずしも美術作家でなくてはならないということはなく、むしろ他館では学芸員を長く経験した方が館長となるケースが多い。将来も美術館の活動を維持するため、マネジメントするにふさわしい人を迎えられる体制を整えたい。

（２）令和４年度以降の観覧料及び開館時間等について

事務局：（資料 ２～３ ページについて説明）

令和２年４月より２年間でテスト期間として、観覧料の無料化と開館時間の変更を行った。これまで無料観覧日（開館記念日、「ぞっこん！さく市」及び「佐久市農業祭」、佐久市民の日）に観覧者が集中しており、観覧料を通年無料にすることで観覧者数の増加が期待できると考えた。また、観覧料収入に相当する経費を節減するため、開館時間の短縮もあわせて行った。

コロナ禍で正確な検証が難しい面もあったが、コレクション展のアンケート結果（資料２）をふまえて、令和４年度は観覧料及び開館時間を条例通りとしたい。

また、令和元年度に県から県内各市町村へ依頼があったことから、高校生以下及び18歳未満の観覧料を無料としていきたい。条例改正も視野に入れているが、他の観覧系施設と調整の必要がある。

委員：現行の条例で、開館時間は年間を通して午前9時30分から午後5時までか。

事務局：過去には冬期のみ午後4時30分閉館としたこともあったが、現在は年間を通して午前9時30分から午後5時までである。

委員：冬期は日没が早く、4時30分にもなると多くの人が出歩かなくなるので、季節によって開館時間を変えた方が良い。夏と冬とでは気温差も激しいので、空調等にかかる経費の観点からも、人の来ない冬の夕方に無理して開館する必要はないように思う。

委員：来年度からは観覧料を徴収する方針ということでよいか。

事務局：観覧料及び開館時間は、原則として条例に則らなくてはならない。先に述べた高校生以下の観覧料だけでなく、協議会で出された意見についても検討し、変更する場合には条例改正を行いたい。

委員：有料に戻すならばメリハリをつけてもらいたい。一旦無料にして再び有料という流れになれば、市民にとっては来館のハードルが上がる。展覧会なども観覧料に見合う内容としてほしい。

事務局：事務局としては、本来有料であったコレクション展をこの2年間、理事者や議会の了解を経て特別に無料にしたものと認識している。コロナ禍で十分な検証はできなかったが、1年延ばしても確実に検証可能な状況に戻る保証はないので、テスト期間の延長は行わないこととした。観覧料収入は年間100～200万円程度であるが、それでも貴重な市の財源となる。

委員：館内でイベントがある日には多くの方が来館していた。有料でも多くの方が来る方策を検討してほしい。

委員：学校単位での観覧は、現行の条例でも減免申請で無料となるか。

事務局：小中学生が学校の活動で来館する場合には、現行の条例でも来館前の減免申

請で（引率する先生を含め）無料にできる。

事務局としては、学校単位で観覧する場合以外にも、高校生以下の子どもたちが無料で観覧できるようにしたい。令和4年度は県立美術館との交流展を計画しているので、その際の観覧料は県立美術館にあわせて高校生以下を無料とすることを考えている。

委員：令和4年度に予定されている中で、小中学生の観覧にもっとも適した内容の展覧会は県立美術館交流展であると思うが、夏休み中の開催であるため社会科見学等の学校行事に組み入れることが難しい。各家庭での来館を促すため、日中働いている保護者に配慮して夜間開館を行い、それにあわせて親子で参加できる対話型鑑賞などのイベントを行ってはどうか。

委員：10～20代にもっと来館してほしい。ナイトミュージアムのように学生が来られる時間帯のイベントが、もっとあるといいと思う。

事務局：以前に夜間開館を行ったことがあるが、来館した人はあまりいなかった。しかし、イベントを行ったり、対象や期間を限定したりして実施するのは有効だと思うので、県立美術館交流展にあわせて検討していきたい。

委員：ナイトミュージアムでのイベントは内容が大事だと思う。夜だからこそできるイベント、季節感があるイベントをやってほしい。面白そうなイベントには、宣伝しなくても人が集まる。

委員：協議会としては、観覧料及び開館時間を条例通りに戻すという、近代美術館の意向を認める方向でよいか。事務局には出された意見をふまえてよく検討してほしい。

（3）個別施設計画について

事務局：（資料4～9ページについて説明）

委員：議会から近代美術館に関する質問が出たと記憶しているが、これは個別施設計画を前提としたものであったか。

事務局：令和3年佐久市議会第3回定例会で出された小金沢昭秀議員の一般質問は、駒場公園一帯の文化施設を対象とした、個別施設計画の策定をふまえての質

問であった。近代美術館は現況の回答のみにとどめたが、中央図書館は複合化も視野に入れて検討すると回答した。質問の前後で近代美術館の方針は変わっていない。

委員：令和5年度をもって佐久創造館が閉館する。美術関係のグループもたくさん活動しており、閉館後の活動拠点が決まらず悩んでいる。美術関係のグループによる専有利用が可能な部屋を近代美術館内に作り、受け入れることはできないか。有料で受け入れを行えば、市の財源にもできる。

事務局：現状では作品制作の可能な部屋が視聴覚室しかないうえ、ワークショップなどの際にはビニールシートで養生を行わないと使えない。今後大きな改修を行えるのであれば、制作ができるスペースもあればいいと考えている。

委員：現在佐久創造館で活動しており、行き場がないと感じている。周辺の公民館等は元々活動していた団体を優先するので、閉館後は「難民」となる。館内で活動している人が外から見えることが集客にもつながるならば、ロビーや喫茶室での制作には喜んで協力したい。閉館後の選択肢として近代美術館も候補に入れられるよう、検討してほしい。

委員：近代美術館の開館時には、全国から集まった一流の収蔵作家たちを、市内の一般家庭にホームステイさせたことがあった。そのときはワクワクした。一流の作家たちの作品は、佐久の財産だ。個別施設計画のためのアンケートでも、78%の人が「必要」と答えていることを嬉しく思う。英知をしぼって、次の時代に向けて展開させてほしい。

委員：館内に美術系の通信制高校のような学校があればいいと思う。都心ではビルの一室に通信制高校が入っていることがあるので、地方でもそういう場を作れないかと考えてきた。さらにそこへ、地域で創作活動をしている方も入っていける場にできるといい。近代美術館が改修を行うときには、夢のある新たな学び舎の可能性も視野に入れてほしい。

委員：中央図書館が建替えを行うならば、近代美術館や駒場公園全体の整備も見据えた計画を盛り込んでほしい。複合化の話題が出たが、建物がそれぞれ別棟となったにしても、庭を共有するなどすれば人がより集まりやすい環境にできる。コンパクトで賑わう施設になってほしい。

事務局：今後大きな改修ができるかどうか現段階ではまだわからないが、個別施設計画の「中期」にあたる時期には大きなリノベーションを行いたい。そのときには皆様から出していただいたアイデアを生かしたい。

委員：「中期」は令和9年度から18年度までということになる。その頃には近代美術館の職員構成も大きく変わっているはずなので、しっかりと今の意向を受け継いでもらいたい。

（４）その他

事務局：（資料10ページについて説明）

委員：児童生徒写生大会の全校配布チラシはありがたかった。仕分けが大変だろうが今後も続けてほしい。

今年は夏休みに教員の研修会があり、近代美術館の展示を使ったワークショップを行うことができた。館長には本校でのワークショップに参加していただいた。アートカードを用いて展覧会を作る授業に近代美術館の学芸員が参加する計画もあったが、コロナ禍のため中止になってしまった。来年もこのような連携を続けていきたいと思う。

4 閉 会